質問書回答

2015 年 10 月 5 日

「（案件名）メキシコ国 TRI 法に焦点をあてた低侵襲医療技術の普及プロジェクト」
（公示日：2015 年　9 月　16 日／公示番号：150768）について、質問の回答は以下のとおりです。

通番	当該頁項目	質問	回答
1	P17 の「5. 実施方針及び留意事項」の「（13）現地人材の配置について」	配置予定である現地人材の任命機関、所属予定機関及び予想職位をお教えください。	プロジェクトの活動を側面的に支援、調整するための現地人材の任命機関は保健省保健省保健質・教育総局となります。所属予定機関は国立循環器病院を想定していますが、実施する業務は本事業での研修マネージメントや各種業務・ロジ支援等であるため、医療職が配置されるとは限りません。
2	P28 の「9. その他留意事項」の「（1）機材調達」	「ドライバーの費用、車両の燃料費や維持管理費などを一般業務費の見積もりに含める。」とあるが、車両は、メキシコ側からの貸与あるいは JICA メキシコ事務所で調達なのか、それともプロジェクト供与機材で購入すべきかお教えください。	本案件では車両の調達・貸与は想定されないため、「9. その他留意事項（1）機材調達」において、「ドライバーの費用、車両の燃料費や維持管理費などを一般業務費の見積もりに含める。」の記載は削除します。ただし、業務従事者が移動に使用する車輌の借上げ等にかかる経費は一般業務費で積算してください。なお研修実施場所とプロジェクト事務所は国立循環器病院の内部です。
3.	P5, （○）契約全体が複数の契約期間に分かれるため、各期間分及び全体分の見積りをそれぞれに作成してくださ	現在想定されている年次分けの回数および各年次の時期をお教えください。 業務指示書より、年次分けは 3 回、1 年次：2015 年 11 月～2016 年 10 月、2 年次：2016 年 11 月～20117 年 10 月、3 年次：2017 年 11 月～2019 年 1 月と想定しておりますが正	本案件は、一の契約で 2015 年 11 月から 2019 年 1 月までの業務を実施するものです。 この業務の期間を 1 年次から 3 年次に区切って業務工程を管理しますが、各年次の期間はご想定のとおりで結構です。なお、プロポーザル見積りは第

通番	当該頁項目	質問	回答
	い。	しいでしょうか。	1 年次から第 3 年次までをとおした見積りを一の見積書で作成してください。
4.	P12, 活動1－1 P20, （１０）研修用教材の作成	マニュアル・教材の整備・策定に係る経費（例えば、執筆者への謝金、印刷費、作成にかかる消耗品等の費用）は先方負担が可能でしょうか？　または、日本側の一般業務費で計上が必要でしょうか？	マニュアル・教材の整備・策定に係る経費（印刷・製本費、作成にかかる消耗品等の費用）は日本側の負担となるため、プロポーザル見積りにおいて、一般業務費に計上をしてください。
5.	P12, 活動1－3	機材の整備は、別添1の機材３点を想定しておりますが、その他の研修に必要となる機材（例えば、ノート PC、プリンター、プロジェクターなど）を含む必要がありますでしょうか。詳細計画策定調査の結果を踏まえて、お考えをお聞かせください。	本事業の円滑な実施に向けた機材の整備に関し、「心臓カテーテル法操作習得用血管モデル（シリコン製）」を用いた研修を行う際、CCD カメラ、同カメラの据付台、そしてモニターの購入が別途必要となります。それ以外の機材整備はメキシコ側による負担となるため、日本側での整備は必要となりません。
6.	P13, （7）プロジェクトサイト P19, （6）ベースラインの把握、指標設定	全国の 69 公的医療施設を対象としています。ベースライン調査、エンドライン調査などの際に、質問票調査以外に本プロジェクト専門家が地方の対象施設を訪問する必要があると考えますが、どの程度見積書に経費を含めるか想定が困難です。想定される訪問施設数や訪問頻度についてお考えがあればお教えください。	・全国の公的医療施設は 42 に訂正します。 ・プロジェクト開始後に変更の可能性はありますが、ベースライン調査、エンドライン調査の実施に際しては 42 施設、そして年に１度の割合で地方 20 施設に訪問することを想定します。
7.	P16, （9）業務の実施体制	ア）、イ）、ウ）それぞれの定期会議に係る経費（例えば、会議費、参加者の日当・宿泊費・交通費）を見積書に含める必要があるでしょうか。特に、ウ）技術チームは、地方都市在住の専門医が含まれると考えられ、これらの経費が P17（14）に記載のコストシェアリングにてまかなわれるのかが分かりません。現時点では、具体的な金額を見積もるのは困難と思われますので、もし含める必要がある場合は、大ま	合同調整員委員会、運営委員会、そして技術チームの定期会合に伴う経費（会議費、参加者の日当・宿泊・交通費）は、メキシコ側の負担となるため計上する必要はありません。

通番	当該頁項目	質問	回答
		かな想定金額を設定して頂けると助かります。	
8.	P17, （１３）現地人材の配置について	現地人材 1 名をメキシコ側が配置することとなっていますが、その人材の能力や労働条件が分かりません。日本側として、別に現地アシスタントを雇用しても良いでしょうか。	日本側による現地アシスタントを雇用することは現時点で想定していません。日常庶務、研修の技術的な支援、研修成果の把握及びモニタリング委員会への報告提出に係るプロジェクト業務を担当する現地アシスタントはメキシコ側の責任で配置することとなっています。そのため、現地アシスタントに期待する能力や労働条件などの詳細は、事業開始後にメキシコ側と十分に検討してください。
9.	P18, （４）ワーク・プランの作成・協議	ワーク・プラン原案（西文）を取りまとめる必要があります。また、P23, ７ー（1）のとおり和文の作成も必要となります。翻訳代を計上することは可能でしょうか。	ワーク・プラン原案の和文から西文への翻訳代の計上を認めます。
10.	P20, ⑼研修計画の策定	・心臓インターベンション専修医の研修は 1 年次・2 年次のみで、3 年次は実施しないという理解でよろしいでしょうか ・専門医の資格更新研修（年間 80 名程度）は毎年次実施すると言う理解でしょうか。想定する実施年次をお教えください。	同国の心臓インターベンション専修医制度は 2 年制で構成されているため、研修対象は各年次の専修医となりますので、第 3 年次においても研修は実施します。また専門医の資格更新研修は第 1 年次から第 3 年次まで毎年次実施します。

以上